5歳児後半からの指導計画を用いて「修了時の姿」を作成する方法

下図（例:C園の指導計画）のように、5歳児後半の指導計画を「幼児の姿」→「ねらい・内容」と並べて示すと、改めてその構造が明らかになってきます。最後の「期」が終わったときの幼児の姿が明確になっていないことに気が付くでしょう。「修了時の姿」は幼児が最後の「期」の「内容」を経験し「ねらい」に向かうようになった姿を明確にすることで作成できます。そして「修了時の姿」は、小学校スタートカリキュラムの基になると言えます。

１４期（５歳児１１月～１２月）

幼児の姿
（１３期が終わったときの姿が１４期の計画の基になっている）

◆ いろいろな運動や遊びに意欲的に取り組む中で、友達との関係が広がったり深まったりして友達のよさに気付いたり、認めたりする。
◆ 自分の考えを言葉で伝え、友達の思いやイメージを受け入れて遊びを展開するが、互いに譲れないところも見られ、いざこざとなったり、遊びが途切れたりすることもある。

◆ 教師に読んでもらった物語からイメージを広げ、言葉で表現したり、絵で描いたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。
◆ 運動的な活動や描いたり作ったりする活動では、それを苦手とする幼児の中に挑戦してみようとする意欲が見られる。

◆ 自然の変化や身の回りの出来事に興味をもって関わり、思ったことや感じたことを言葉や行動で表現する。
◆ 木の葉や木の実、種などの自然物を使って遊ぶ。
◆ 季節が変わる中で、自然現象の変化に気付き、自分たちの遊びに取り入れようとする。

○ ねらい
● 内容

○ 友達と共通の目的をもって、遊びを進める楽しさを味わうようになる。
● 自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたり、認めたりしながら遊びを進めるようになる。
● 友達と目的に向かい、役割を分担したり協力したりして遊ぶ。
● ドッジボールや鬼ごっこなどで、自分たちなりのルールを考え、相談しながら遊ぶ。
● 共通の目的に向かって取り組む中で、自分の力を発揮する。

○ 友達と共通のイメージをもち、自分なりの方法で表現する楽しさを味わうようになる。
● グループで友達とイメージを出し合い、のびのびと表現的な遊びをする。
● 自分たちで使う物を考え、工夫して描いたり作ったりする。
● 音楽に合わせて動いたり、楽器を使ったりして表現することを楽しむ。

○ 身近な自然に関心をもち、よく見たり遊びの中に取り入れたりするようになる。
● 落ち葉や木の実、枝を使った遊びを工夫する。
● 収穫の喜びを味わう。
● 木々の変化など、季節とともに変わることに気付く。
● 球根植え、種まきなどをして、生長を楽しみに待つ。
● 氷、霜柱、吐く息などに興味をもつ。

○ 健康で安全な生活に関心をもち、必要な決まりや約束を進んで守ろうとするようになる。
● 避難訓練に参加し、安全に気を付けて行動する。
● 風邪の予防について知り、手洗いやうがいを丁寧にする。

１５期（５歳児１月～３月）

幼児の姿
（１４期が終わったときの姿が１５期の計画の基になっている）

◆ 年長児の友達だけでなく、年中児の友達も自然に誘い合ってチームを作り、ドッジボールやサッカーなどチーム対抗で得点を競い合う。
◆ カルタ取りやトランプなどの遊びを通して、文字や数に興味をもつ。
◆ こま回しやなわとびでは、友達に刺激を受けて自分もやってみようとしたり、できなかったことにも挑戦したりする。
◆ 友達関係に深まりが見られ、自分の気持ちや考えを言えるようになってくる。
◆ 生活発表会の劇や合奏、歌などを決めたり、なりたい役を積極的に希望したりする。繰り返し取り組む中で、大きな声で台詞を言ったり、のびのびと動いたりするなど自信をもって表現する。
◆ 今まで経験したことや楽しかったことを思い出して友達と繰り返し遊ぶ。

◆ 雪や氷、霜柱などで遊びながら、自然事象への関心が高まってくる。

◆ 入学の期待がふくらみ、就学に向けた話題が多くなる。
◆ いろいろな活動を通して、まもなく幼稚園の修了がくることを自覚する。

○ ねらい
● 内容

○ 遊びや生活に見通しをもち、自主的に進めていく充実感を味わうようになる。
○ 友達と共通の目的をもって遊び、互いのよさを認め合い、やり遂げる満足感を味わうようになる。
● 数量や文字に興味をもち、生活の中で使う。
● 困難なことでもやってみようとする。
● いろいろな材料や用具を使って試したり工夫したりして遊ぶ。
● 自主的に遊びを進める中で、相談したり、共感したりしながら友達とつながりを深める。
● クラスの目的に向かって一人一人がイメージや考えを出しながら取り組む楽しさを味わう。
● 互いのよさを認め合ったり、考えを取り入れたりしながら遊ぶ楽しさを味わう。

○ 冬の自然事象に興味や関心をもち、美しさや不思議さに気付いたり、試したりするようになる。
● 霜柱や氷を見付けたり、触れたりして冷たさや不思議さに気付く。
● 雪合戦を楽しんだり、雪だるまを作ったりする。
● 冬から春への季節の変化に気付く。

○ 小学校への期待をもち、自信をもって行動するようになる。
○ 修了式の意味や目的を知り、そのための準備に意欲的に取り組むようになる。
● 年少児や年中児に優しい気持ちを込めてプレゼントを作る。
● 園外保育やお別れ遠足に行く。
● 園生活を振り返り、年少児や年中児との交流を深めながら、自分の成長を感じる。
● 小学校の校庭で遊び、小学校への期待をもつ。
● 自分の持ち物や使った場所、作品を整理したり、壁面飾りを作ったりする。
● これまでお世話になった方に感謝の気持ちをもち、伝える。
● 修了式の練習に取り組む。
● 修了式に自信をもって参加する。

修了時（３月末）

修了時の姿
（１５期が終わったときの幼児の姿）

◆ あやとりやこま回しなど、できなくて悔しい思いを経験しつつも、友達同士でコツなどを伝え合ったり、繰り返し挑戦し乗り越えたりして、友達と遊ぶことの喜びを味わうようになる。
◆ サッカーやドッジボールなど、ルールが複雑化して勝敗が明確になるような遊びの中で、みんなで遊び続けるにはどうしたらよいかを相談しながら、チームの分け方やルール変更などを考え、自分たちで進めていく。

◆ 自分で植えたチューリップを大切に思ったり、友達のものと比較したり、変化を喜んだりする。
◆ 土の中のカブトムシやゾウムシの幼虫に思いをはせながら、その後どうなるのだろうと、思いを巡らせる。

◆ 友達や先生に支えられながら、自信をもって行動するようになる。
◆ 小学校の生活を楽しみにしながらも、新しい場や先生、友達に対して不安を感じ、複雑な心情を抱く。

小学校　スタートカリキュラム